

令和2年度 入札監視委員会議事概要

北海道防衛局・帯広防衛支局

開催日及び場所	令和2年9月28日(月) 陸上自衛隊札幌駐屯地援護隊舎2F第2教場
委員	阿座上 洋吉(経営学者) 大浦 崇志(公認会計士) 神谷 奈保子(大学客員教授) 菊地 均(大学名誉教授) 津田 秀太郎(弁護士) <span style="float: right;">(50音順)</span>

防衛省発注機関が締結する契約(建設工事等を除く。)に関する審議

審議対象期間	平成30年4月1日 ~ 平成31年3月31日
審議対象件数	2件

1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)

抽出件数	2件	(審議概要) 1 契約状況の説明 2 抽出事案の概要説明 3 抽出事案の審議
一般競争契約	0件	
指名競争契約	0件	
随意契約	2件	

意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>① [千歳防衛事務所(31)庁舎施設機械警備]                      (令和2年3月からの持越し質疑)                      ・公平な入札環境を確保する観点からは、当該年度の警備終了時に設置機器を撤去させることで、既存業者の優位性を排除可能と考える。こうした措置を行わない理由はあるのか。又は他の手段で事実上の優位性を除去し、公平な入札環境の確保を目指す余地はあるのか。</p> <p>・仕様が見直されたことで、既存契約事業者が設置した警備機器の種類や場所に、新規参入希望事業者が拘束されない環境が確保された。その結果、機器撤去及び設置に係る既存契約事業者の優位性が相対的に減退すると同時に、新規参入希望事業者の劣後性も相対的に減退し、もって入札環境が競争参加しやすい方向に向かっていると評価し得る。つまり、入札環境の公平度が増したものと評価できる。</p>

	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>② [令和元年度矢臼別演習場周辺地区牧草（1番草）売払業務] （令和2年3月からの持越し質疑）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本件は、会計法第29条の3第4項及び予決令第102条の4第3号に基づき、大臣協議を要さない随意契約で行っているという理解でよいか。</li> <li>・随意契約を許容した妥当性について。</li> <li>・理解した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのとおりである。</li> <li>・平成8年12月、沖縄県の負担軽減を図るため、米海兵隊の沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練を、本土5演習場で分散・実施することが日米間で合意され、矢臼別演習場がその分散先の1つとなった。当該演習場の周辺においては騒音対策の1つとして、移転を希望する者に対し移転措置を実施しており、当該移転措置により国が買入れた土地の有効利用の観点から、地元自治体からの要望等を踏まえ、地元の基幹産業である酪農の発展に寄与するため、当該土地を採草地として整備し、そこで生長した牧草を地元農業組合に売払うこととなったものであり、妥当性が認められるものと思慮する。</li> </ul>
委員会による意見の具申又は勧告の内容	・なし	
2. 談合疑義案件の処理状況について		
談合疑義件数	0件	(審議概要) ・なし
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問 ・なし	回答
委員会による意見の具申又は勧告の内容	・なし	
3. 再苦情処理（再説明請求回答）		
再苦情申立件数 （再説明請求件数）	0件	(審議概要) ・なし
一般競争契約	0件	
指名競争契約	0件	
随意契約	0件	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問 ・なし	回答
委員会による意見の具申又は勧告の内容	・なし	